

「富山市版スマートシティ」とは？

1. 富山市がスマートシティを実施する「目的」

- ①コンパクトシティ政策（公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり）の“深化”
- ②市民生活の質や利便性の向上
- ③地域特性に応じた市全域の均衡ある発展（中山間地域をはじめとする都市郊外部の課題解決）

2. 富山市版スマートシティ検討の方向性

- ①コンパクト&スマート ※コンパクトシティ政策をスマートシティ政策で補完・融合
- ②市民（利用者）中心主義 ※行政や企業など「サービス供給者中心主義」に陥らない
- ③ビジョン・課題フォーカス ※「技術・データフォーカス」に陥らない（技術・データは「手段」）

3. 富山市版スマートシティが目指す「ありたい姿」

ありたいまちの姿（まちづくりの目標）	ありたい暮らし（施策テーマ）
[1]誰一人取り残されることなく便利で安心して暮らせるまち	①便利な暮らし ②安心・安全で健康な暮らし
[2]地域の宝を未来へつなぐ地域づくり・人づくりのまち	③誇れるものがある暮らし ④心が豊かでワクワクできる暮らし ⑤子供の笑顔があふれる暮らし ⑥若い世代の活気に満ちた暮らし
[3]互いの地域を尊重し支えあう一体感のある持続可能なまち	⑦人と人のつながりがある暮らし ⑧地域の魅力を分かちあい支えあえる暮らし ⑨産学官民の共創が生まれる暮らし

「富山市版スマートシティ」とは？

4. 市民目線の解決したい課題

ありたい暮らし（施策テーマ）	主な課題（アンケート問7, 8の元となる課題）
① 便利な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通の便が悪い（公共交通の不足、東西の移動） ・ 車無しでは住みづらい ・ 除雪、排雪が大変 ・ 買い物が不便 ・ 朝夕の渋滞 ・ 行政手続きが不便
② 安心・安全で健康な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家が多い ・ （土砂災害など）自然の影響を受けやすい ・ 地域の見守り機能の低下 ・ コロナを契機に外出機会が減少 ・ 防災意識が低い ・ 災害情報をスムーズに共有できない
③ 誇れるものがある暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の伝統・文化の担い手の減少 ・ 美しい自然や景観を保全する担い手の減少 ・ 地域資源をプロデュースできる人材の不足 ・ マーケティングやPRが不足 ・ 観光施設の減少（スキー場、温泉等）
④ 心が豊かでワクワクする暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間的・精神的「ゆとり」がない ・ 魅力ある空間・スポットが分散 ・ 挑戦する人を応援する仕組みが不足 ・ 世代を問わず挑戦できる仕組みが不足
⑤ 子供の笑顔があふれる暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供の減少 ・ 子供たちの遊ぶ場所が少ない ・ 学校からイジメがなくなる ・ 学童保育が足りない ・ 核家族化と共働きで子供の見守りが不十分
⑥ 若い世代の活気に満ちた暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力ある仕事が少ない ・ 地元の良さが活かされていない ・ 働き方に多様性がない ・ 若者の流出が止まらない ・ 子育て世代が働きやすい環境が不十分 ・ 若者にとって魅力的な遊び場が少ない
⑦ 人と人のつながりがある暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人と人との関係づくりが難しい ・ コミュニティ活動の個人情報の取扱いが難しい ・ コロナを契機に地域の交流機会が減少 ・ 住民同士の関係が希薄化 ・ 困りごとを相談できる人が少ない
⑧ 地域の魅力を分かちあい支えあえる暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地面積の減少の一方で耕作放棄地が増加 ・ 山林の手入れ、管理ができない ・ 獣害被害の深刻化 ・ 農業従事者の減少 ・ 地域と地域のつながりの希薄化
⑨ 産学官民の共創が生まれる暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な主体（特に女性や子育て世代）が課題解決に関われる仕組みが不足 ・ 学校教育における課題解決プロセスの実践的な学び場の不足 ・ まちづくりへの市民参加と行政からのフィードバックが相互に不十分

「富山市版スマートシティ」とは？

事例：富山市の取組

コンパクトシティ政策

<概念図>

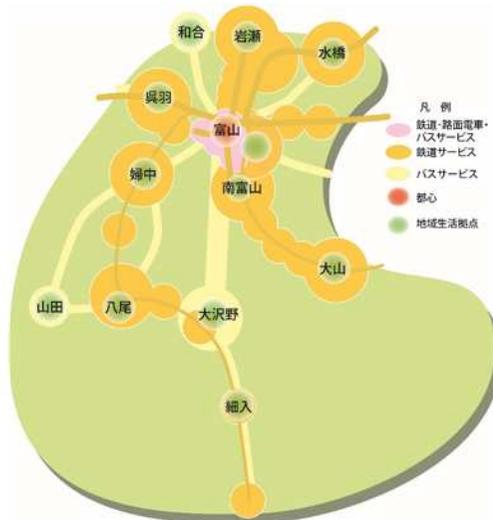
お団子と串の都市構造

串：一定水準以上のサービスレベルの公共交通

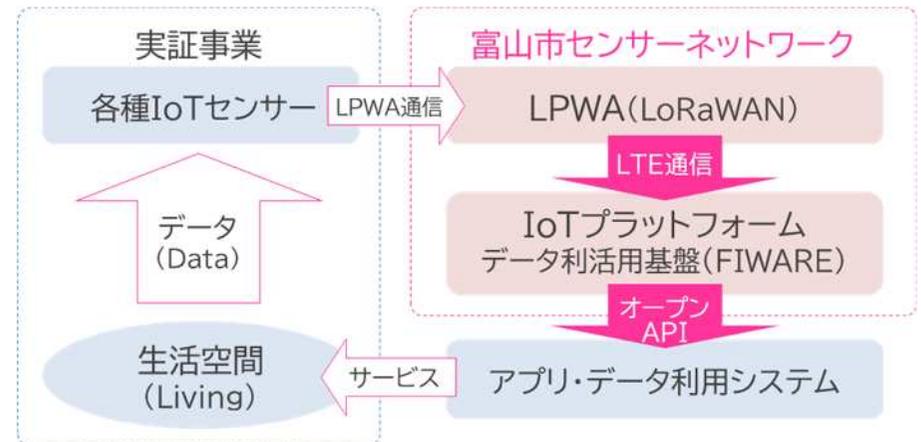
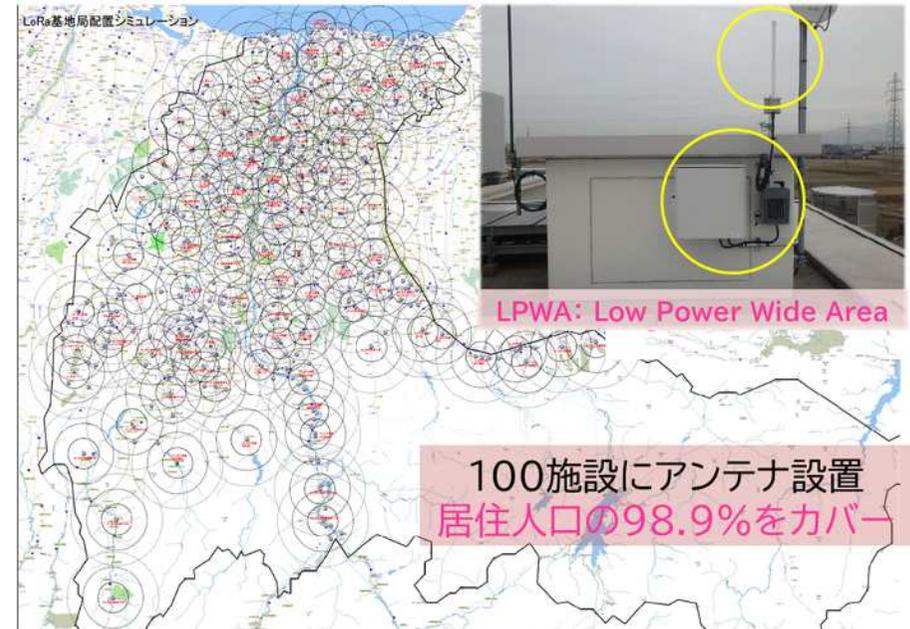
お団子：串で結ばれた徒歩圏

<実現するための3本柱>

- ①公共交通の活性化
- ②公共交通沿線地区への居住推進
- ③中心市街地の活性化



富山市センサーネットワーク



3年間で61件の実証事業が実施（経費は全て民間負担）

「富山市版スマートシティ」とは？

事例：富山市の取組

とやまシティラボプロジェクト

施設コンセプト

“未来を描ける場所。”



Toyama Smart City Square

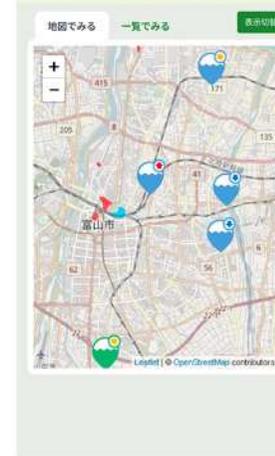
◆トップページ

情報カテゴリを
パネルで表示



◆地図で見る

地図上のアイコンの
色や形が自動変化



◆一覧で見る

探したい情報を一覧から
簡単に選択可能



◆道路工事情報

スマートフォンでも
見やすく表示



◆消防車両出動情報

火災発生場所や消防隊・救助隊
が出動する災害発生場所を表示



◆河川水位情報

IoTセンサーからの
情報を見える化

